

(様式 1 - 表)

令和 7 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	33	豊田市立 滝脇小 学校	代表	小川 洋一
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	知ろう！守ろう！"滝脇の自然"そして地域に広げよう！	分野	d	環境教育
	サブテーマ ー 自然に親しみ、学び、はたらきかける滝っ子の育成 ー	i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	・学校を取り巻く豊かな自然を生かした自然愛護の活動を推進する。 ・愛鳥活動を中心とした野生生物保護の活動を通して、感動ある自然愛護活動をする。 ・恵まれた自然に親しみ、学び、はたらきかける態度や郷土を愛する心を育てる。 ・「探鳥会」「野鳥の森整備活動」「二畳ヶ滝の清掃活動」などの計画や実践を保護者や地域の人々と連携して行い、特色ある開かれた学校づくりをめざす。 ・恵まれた自然環境を生かし、残すために環境整備を進める。			
活動内容・計画	「知る活動」 ・講師を招いて探鳥会や野鳥の森の学習を行い、野鳥や生き物について学んだり、季節による鳥の様子や講師の先生からの学びを交流し合ったりする。 ・季節ごとに滝脇の鳥を選定し、保護者や地域も巻き込み、地鳴き検定や姿見検定を行う。また、新たに新留鳥を選定し、検定の深化を図る。 「守る活動」 ・冬季には児童が巣箱を作成し、学校周辺の木々に設置したり、学年単位で給餌活動を行ったりする。 ・子どもの問題意識に基づいた視点をもち、営巣調査を継続する。 ・野鳥が営巣しやすくなるように、森の環境作りをする。 「広げる活動」 ・野鳥等の保護活動の取り組みを8月の「愛知県野生生物保護実績発表大会」で発表する。また、全国野生生物保護活動発表大会にも参加する。 ・自然いきいき発表会で、学習してきたことを保護者や地域の人々に発信する。 ・高学年は「愛鳥リーフレット」「バードカービング」を作成し、交流館、総合野外教育センターなどを通して、広く市民に知っていただく。			
補助員配置	・体力向上補助指導員 ・校内整備員			
実績・期待される効果	・年に2度の全校探鳥会や、学年ごとの自然観察、保護の活動を継続して行うことにより、自然への知識・理解、自然保護の気持ちを各学年段階で育むことができる。また、滝脇に対する郷土愛を育てることができる。 ・ホームページや学校新聞でのお知らせや、自然いきいき発表会での報告、愛鳥リーフレットの作成・配布などにより、本校の自然にかかわる姿勢を地域の方をはじめ、全国の多くの人に伝えることができる。 ・「二畳ヶ滝クリーン活動」や「野鳥の森の整備」等を通して、保護者や地域の方々と共に推進していくことで、環境を守る意識を高め、郷土を愛する心情を育てることができる。 ・地域の方たちと共働する場を通して、人との心の交流を図り、地域を愛する気持ちを高めることができる。			
検証方法	・児童の振り返り、参加者の声やアンケート等から ・保護者アンケート、学校アドバイザー等外部からの評価から ・ホームページの閲覧状況から ・全国野生生物保護活動発表大会、愛知県野生生物保護実績発表会、自然いきいき発表会から ・各種愛鳥検定の児童の様子、結果などから			